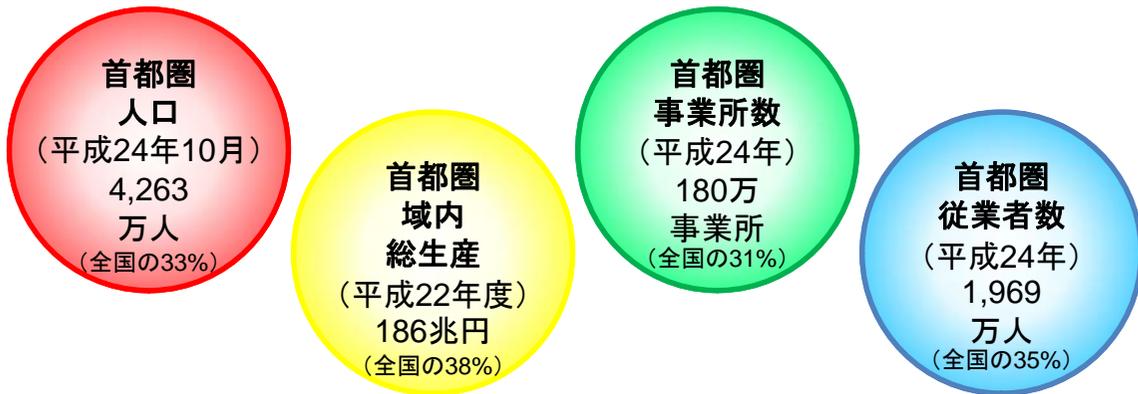


首都圏空港の更なる機能強化の必要性

別紙

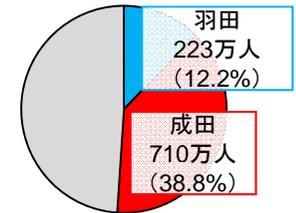
首都圏(1都6県)の現在の経済力



世界上位500企業の都市別数 (2013年)

順位	都市	企業数
1	北京	48
2	東京	46
3	パリ	19
4	ニューヨーク	18
5	ロンドン	17

外国人の首都圏空港利用者数 (平成24年) 932万人 (全体の51.0%)



首都圏は、インドやロシア、カナダ一国に匹敵する経済規模を有する、我が国最大の都市圏

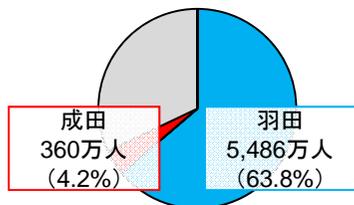
世界上位企業の立地数で東京は北京に次いで世界第2位

首都圏は訪日外国人の最大の玄関口

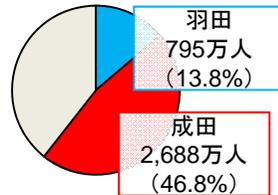
出所: 総務省人口推計、県民経済計算、平成24年経済センサス活動調査、世界の統計2013、Fortune Global 500、出入国管理統計

首都圏空港の現状

国内線利用者 8,597万人 (全体の68.0%)

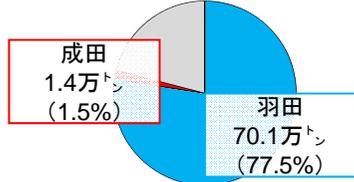


国際線利用者 5,744万人 (全体の60.6%)

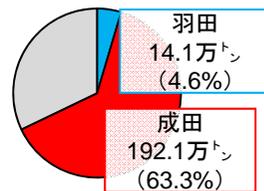


首都圏空港で全利用客の約65%を占める

国内航空貨物量 71.5万トン (全体の79.0%)



国際航空貨物量 303.6万トン (全体の67.9%)



首都圏空港で総貨物量の約70%を占める

出所: 航空輸送統計年報、空港管理状況調査

日本最大の国際線・国内線の拠点空港

平成25年度末: 羽田国際線 3万回増枠

平成26年度中: 成田30万回化

両空港で 75万回化

主要空港の発着容量の比較

諸外国主要空港の発着容量(2011年実績)

・ニューヨーク	118万回
・ロンドン	110万回
・パリ	75万回
・上海	57万回
・北京	55万回
・ソウル	37万回
・香港	34万回
・シンガポール	31万回

(ターミナル、滑走路建設計画あり)

首都圏空港の更なる機能強化の必要性

別紙

成長著しいアジア等世界の成長力取り込み(日本再興戦略等)

産業・都市(首都圏)の 国際競争力強化

企業立地の促進

- ・アジアヘッドクォーター特区等
総合特区の活用

▶ アジア地域の業務統括拠点等
を含む外国企業を500社以上誘致
(東京都)

- ・国家戦略特区の検討

▶ 日本への投資環境の整備

ヒトとモノの交流の活発化

日本経済の再生

訪日外国人の増加

訪日外国人数の現状 と政府目標

2012年(実績)
訪日外国人数 836万人
旅行消費額 1兆861億円

今後の
目標

2013年に1,000万人を
達成し、さらに2,000万人
の高みを目指す。

外国人旅行者数の増加と
旅行消費額の拡大

日本全国の地域活性化

日本最大の 際内航空ネットワーク

国際線 97都市

+

国内線 51都市

際内間の
ヒトとモノの交流の活発化

諸外国の成長力を
国内各地域に波及

首都圏空港の更なる機能強化が必要

今後の検討の進め方

平成25年9月末(予定)

交通政策審議会航空分科会基本政策部会



首都圏空港をめぐる航空政策上の課題の整理

〔今後の首都圏空港の需要予測、国際航空を巡る環境変化、
首都圏空港の国際競争力を高めるために必要な能力・機能 等〕

平成25年10月～平成26年3月末

首都圏空港機能強化技術検討小委員会



首都圏空港の機能強化策にかかる技術的な選択肢の洗い出し

平成26年度～

地元自治体や航空会社等の利害関係者も含めた検討の場



具体的な選択肢の精査及び関係者との合意形成

合意形成後

国と地元自治体による協議の場



具体的方策の理解・協力に向けた協議

〔財源確保のあり方、環境対策 等〕